

オンラインマッチングイベント プログラム



タイムテーブル【ニーズ・シーズ発表】

2021年3月2日(火)に、ニーズ・シーズの発表を行います。
各団体15分程度のニーズ・シーズ発表を行い、その後5分程度の質疑応答の時間を設けます。(計20分)
各団体の発表時間帯は以下の通りです。(時間が前後する場合があります)
各団体の発表概要は、本プログラムのP.2~P.10をご参照ください。

ニーズ発表

シーズ発表

Channel-A	Channel-B	Channel-C
-----------	-----------	-----------

10	10:00 -10:20	[A-01] 大阪府 『大阪府内の市町村が抱える移動課題と、スマートモビリティについて』	[B-01] アイシン精機㈱ 『オンデマンド交通「チョイスコ」のご紹介』	[C-01] インテル㈱ 『DX推進に向けて、地域でのデジタル人材育成をお手伝いします』
	10:25 -10:45	[A-02] 加古川市 『加古川市における安全安心の取り組みについて』	[B-02] ㈱シェアショーファー 『新しい日常の「お出掛け」サービス』	[C-02] PwCコンサルティング合同会社 『都市を舞台にしたフィジカル・デジタルの連携による都市機能のスマート化』
	10:50 -11:10	[A-03] 福島産業創生協議会 『復興FUKUSHIMAスマートシティ・プロジェクト』	[B-03] TOA㈱ 『「音」で繋がる「笑顔あふれるまちづくり」』	[C-03] Vivasia S&C㈱ 『スマートタワー（Dicecell）の活用について』
	11:15 -11:35	[A-04] 横須賀市 『ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジのご紹介』	[B-04] ㈱ナイトレイ 『スマートシティ構想におけるロケーションビッグデータを活用した都市・地域課題解決』	[C-04] ㈱福山コンサルタント 『当社のスマートシティへの取り組みとソリューション』
	11:40 -12:00	[A-05] さいたま市 『都市OSとしての共通プラットフォームさいたま版の活用』	[B-05] ㈱マクニカ 『自動運転車両活用による移動支援と走行によって得られるデータ活用ソリューション』	[C-05] 京セラコミュニケーションシステム㈱ 『自治体様・地域事業者様と取り組む「モビリティサービス」と「地域インフラ事業」のご紹介』
13	13:00 -13:20	[A-06] ㈱竹中工務店 『サステナブルなスマートコミュニティ・スマートシティへ技術と総合力で貢献します』	[B-06] ㈱アルボル 『AI活用型コミュニケーション・ロボを活用した観光ガイドについて』	[C-06] 京セラ㈱ 『安心・安全な地域社会実現に貢献する京セラコネクティングサービス』
	13:25 -13:45	[A-07] ABB日本ベレー㈱ 『スマートシティにおけるエネルギーの最適化』	[B-07] キヤノンマーケティングジャパン㈱ 『地域資源の魅力再構成と先端テクノロジーによるプロモーション』	[C-07] ㈱JX通信社 『SNS緊急情報サービス「FATALERT」によるスマートAI防災の廉価な実現』
	13:50 -14:10	[A-08] 清水建設㈱ LCV事業本部 『清水建設による地域の再生可能エネルギーを活用した防災・減災力強化事業』	[B-08] ㈱JTBC (観光予報プラットフォーム推進協議会) 『ビッグデータの有効活用によるEBPM(証拠に基づいた事業・政策立案)と効率化、生産性の向上』	[C-08] ㈱デンソー 『地域の非常時と平常時の安心・安全を実現するデンソーの社会ソリューション』
	14:15 -14:35	[A-09] みやまパワーHD㈱ 『ゼロカーボンシティ実現に向けた「地域内環境価値の取引」や「地域通貨」への応用』	[B-09] ㈱unerry 『スマートシティに向けた行動ビッグデータ活用最前線』	[C-09] 三井住友建設㈱ 『災害(地震)に強いスマートシティの実現』
15	14:50 -15:10	[A-10] ㈱アウトソーシングテクノロジー 『地方創生へ向けた取り組みと課題解決』	[B-10] 朝日航洋㈱ 『3D都市モデル、IoT/ビッグデータを活用した防災減災・インフラモニタリング支援』	[C-10] エバタ㈱、秩父ケミカル㈱ 『「水循環」の改善技術で、スマートシティ実現への提案』
	15:15 -15:35	[A-11] ㈱フジタ 『フジタにおけるスマートシティの取組』	[B-11] ㈱大林組 『データプラットフォーム「SCIM」を核としたスマートサービスの提供』	[C-11] ミネベアミツミ㈱ 『スマート道路照明とスマートシティソリューション』
	15:40 -16:00	[A-12] ㈱ラック 『スマートシティ/スーパーシティ向けセキュリティサービス構想 "town"』		

A-01

大阪府

大阪府内の市町村が抱える移動課題と、スマートモビリティについて

- 大阪府の取組み
- 大阪スマートシティ戦略の方向性について
令和2年3月に策定した「大阪スマートシティ戦略Ver.1.0」の3つの基本姿勢の紹介や、府域での展開イメージ、スマートモビリティに関する内容など
- 大阪スマートシティパートナーズフォーラム（OSPF）について
OSPFの枠組みの紹介や、現在進行中のプロジェクトに関する内容など

- 大阪府内市町村のモビリティ分野における課題など
- 大阪府内市町村が抱える移動課題とニーズについて
大阪府内の市町村が抱える移動を中心とした課題の種類や、これまでわかってきた課題など
- 大阪府内での先行事例について
モビリティ分野における先行事例など
- 具体的な市町村の移動課題の例について
岸和田市などを題材として具体例を紹介：まちづくりにおける拠点整備に伴い、企業の皆様等に期待する取組み 等



<http://www.pref.osaka.lg.jp/it-suishin/sc/index.html>

A-02

加古川市

加古川市における安全安心の取り組みについて

- 平成30年度より運用している見守りカメラ1,475台のリリースについて
- BLEタグ検知器のさらなる活用
- 3D都市モデルを活用したまちづくり
- 地域BWAネットワークを活用したまちづくり



<https://city.kakogawa.lg.jp>

A-03

福島産業創生協議会

復興FUKUSHIMAスマートシティ・プロジェクト

- プロジェクト概要と福島産業創生協議会の説明
- 震災と原発事故当時から現状に至る説明
- 現状の課題と過去10年の被災地における様々な事業紹介
- 新たなプロジェクト紹介
 - 広域連携型の先端的なコネクティッド・ライフ環境プラットフォームの構築
 - エネルギー・データ・交通インフラ等の地産地消システム
 - FUKUSHIMA被災地 林業再生PLAN
 - エッセンシャルワーカーによる医療・介護・見守り・物流配送等の社会補完サービスシステムの開発
- 「復興FUKUSHIMAスマートシティ・プロジェクト」全体像



<https://ficc-2019.localinfo.jp/>

A-04

横須賀市

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジのご紹介

- 横須賀市が抱える社会的課題
 - 人口約40万人の中核市である横須賀市が抱える課題についてお話しします。
- ヨコスカ×スマートモビリティチャレンジについて
 - なぜ、横須賀市が「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ」を開始したのか、強力な推進体制、スカモビのビジョンである「横須賀スマートモビリティ宣言」、宣言に基づく支援パッケージなどを紹介します。
- スカモビ支援プロジェクトについて
 - 2019年度、2020年度に実施または進行中の主なプロジェクトについてご紹介します。特に、全国初の要素を持ったプロジェクトや、横須賀市がプロジェクト実施者に対して行った支援内容なども併せてご説明します。
- スカモビ・チャレンジネットワークのご紹介
 - スカモビの活動をより広く展開していくため、ニーズオリエンテッドな新規実証プロジェクトの創出、企業等とのネットワークを目的とした連携の枠組みをご紹介します。



<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/index.html>

A-05

さいたま市

都市OSとしての共通プラットフォームさいたま版の活用

- さいたま市では、美園地区で美園タウンマネジメント協会を設立し、43の大学・民間企業等、公民+学の連携によりスマートシティの推進に取り組んでおります。
- スマートシティの対象分野は市民生活を構成するあらゆる分野とされていますが、特にデータビジネスに注力しており、平成29年度に情報共通基盤である「共通プラットフォームさいたま版」を構築し、ヘルスケアやスポーツ分野等でデータの利活用を行う実証事業を行ってきた実績を有し、モビリティ分野のデータ利活用にも取り組んでまいります。
- 令和3年度は「共通プラットフォームさいたま版」をスマートシティ・リファレンスアーキテクチャに基づき改修することで、都市OSとして、多くの自治体さまとの共同利用を考えております。
- 弊社が有するノウハウや、これまでの取組概要、今後の展開方針について、お話しさせていただきたく存じます。



<https://www.city.saitama.jp>

A-06

㈱竹中工務店

サステナブルなスマートコミュニティ・スマートシティへ技術と総合力で貢献します

- 社会課題を解決し、新たな社会システムを構築するスマートシティは世界的潮流です。
- 竹中は、スマートシティを人を中心に建物やサービス・ビジネスをつなげるスマートコミュニティと捉え、まちの課題に対するソリューションと総合力で、新たな価値を生み出し、「活力魅力」「環境共生」「安全安心」をもたらす、サステナブル社会の実現に貢献します。
- 先行して実施している建物のスマート化技術を街区に展開し、エネルギーやセンサー情報、人の流れなどを統合集約して、そこから産み出される新たな価値をご提供します。

想いをかたちに 未来へつなぐ



<https://www.takenaka.co.jp/>

A-07

ABB日本ベーレー(株)

スマートシティにおけるエネルギーの最適化

- 最適化演算エンジンに：ABB Ability™ OPTIMAX®
- 再生可能エネルギーを含むエネルギー最適化はスマートシティ構築において必要不可欠と考えます。
- OPTIMAX®は太陽光発電、蓄電池、EV、発電設備、域内の負荷等、複数種類のリソースを束ね、自家消費率の最大化、売電量の増大、CO2最小化等を定めた目的を目指し最適化演算、制御指令を送信します。
- 接続可能な設備の多様性、スモールスタートが可能な拡張性を備えたシステムの概要及び適用事例を交えてご紹介いたします。



www.bailey.co.jp

A-08

清水建設(株) LCV事業本部

清水建設による地域の再生可能エネルギーを活用した防災・減災力強化事業

- 近年、地球温暖化による自然災害の激甚化や大規模な地震などにより、地域社会の社会経済活動および日々の生活の維持や、企業の継続的な事業活動に大きなリスクとなってきました。地域の人々の日常生活や経済活動の持続可能性を確保することが重要です。
- 清水建設は、地域の固有資源を活用した再生可能エネルギーを導入することで平時は再生可能エネルギーとして利用しながら、災害時には独立した自立エネルギーとして利用可能な防災・減災力強化事業に取り組んでいます。
- エネルギーの地産地消など多面的な要素で地域の持続可能性を高めます。
是非ご相談ください。



清水建設は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。
<https://www.shimz.co.jp/company/about/strategy/>

<https://www.shimz.co.jp/>

A-09

みやまパワーHD(株)

ゼロカーボンシティ実現に向けた「地域内環境価値の取引」や「地域通貨への応用」

地域内電力の地産地消は、域内二酸化炭素排出量削減や自立・分散型エネルギーとしての災害時活用などから重要な視点です。また民間企業による再エネ発電所も域内に数多くありますがその電力が地域に有効に活用されていないケースもあります。地方自治体にとって、地域内のごみ発電や再生可能エネルギーを地域で循環していく取り組みが肝要といえる一方、真正性を確認できる環境価値の公開が難しいという課題がありました。私たちは独自のブロックチェーン技術を使い、環境価値の取引を電子証明化することにより、

- 地域の再エネや使っている電気がどこでどう作られたのかを知って取引することによる地域全体での環境への啓蒙
- 取引された環境価値をJ-クレジットなど市場に販売した対価を地域通貨として住民へ提供

の実現が可能と考えます。「資源循環」の証明の取組を足がかりとし、炭素・人・経済が循環する持続可能な循環共生型社会の構築を支援いたします。



<https://www.miyama-phd.jp/>

A-10

(株)アウトソーシングテクノロジー

地方創生へ向けた取り組みと課題解決

地方創生に向けた、技術的アプローチによる課題解決のご提案
 ・具体例：藤枝市くらシェア（クラウドソーシング）導入・運営、宮崎県ボランティアネットワーク（みやボラン）の導入・運営、スマホ・タブレット端末等カメラが付いているデバイスであれば利用可能な遠隔医療（非接触バイタルセンシング）、各種モビリティの実証実験（西新宿等で実行されている自動運転車両の実路走行試験に伴う安全対策や、自動運転システムの評価を当社メンバーで行っています。）

人がやりにくい（やりたがらない）作業の代替提案。
 ・具体例：ドローンを使用した山間部物流や災害時対応、水中のインフラ老朽化調査等の危険作業を人からドローンへのご提案。

工場や倉庫のスマート化による人材不足の解消。

Out-Sourcing! Technology inc.

<https://www.ostechology.co.jp/ostechology.jp/>

A-11

(株)フジタ

フジタにおけるスマートシティの取組

・フジタでは「安全安心」、「サステナブル」、「健康」なまちづくりを目指して、スマートシティの取組を進めています。

【ウォークスルー顔認証&サーマルシステム】

・新型コロナウイルス等の感染症予防対策として、「ビジネスと現場を止めない」ウォークスルー型の顔認証・体温測定システムを開発。東大研究室発ベンチャーのOlioとの共同開発により、業界最高レベルの高精度な顔認証・体温測定を立ち止まることなく、スピーディに行うことが出来ます。

【完全独立型バイオマス発電】

・地域資源であるバイオマスを使った分散型エネルギーの取組を進めています。系統電力に寄らない完全独立型の電源を用いることで電源喪失時や離島でもエネルギー供給を可能とします。

【BIM活用による建物の効率的な維持管理】

・建築のデジタルプロセスであるBIMを活用することで、環境情報、設備機器運転状況等の建物情報を見る化し、効率的な建物維持管理を可能とします。



<https://www.fujita.co.jp/>

A-12

(株)ラック

スマートシティ/スーパーシティ向けセキュリティサービス構想 "town"

- ・スマートフォンやキャッシュレス決済などの普及によって人々の生活にも変化の波が押し寄せています。そして情報機器だけに限らず様々な住宅設備や電子機器がネットワークに接続されるIoTも普及が進んできました。
- ・将来の地域社会においては、地域住民と行政、事業者のほぼすべてがインターネットに接続され、地域住民にむけた様々な行政、医療などの社会基盤サービスもネットワークによって利便性が向上するでしょう。
- ・このようなスマートシティ/スーパーシティにおいては住民の安心、安全を守るセキュリティサービスが必要不可欠となります。
- ・ラックでは、これまでセキュリティ事業やシステム開発事業で培った経験を活かし、スマート化された地域社会と住民を守るための、「街全体を見守る総合的なセキュリティ分析サービス（コードネーム：town）」を発表し、その実現に向けた新規事業開発を進めています。



<https://www.lac.co.jp/>

B-01

アイシン精機(株)

オンデマンド交通「チョイソコ」のご紹介

- 「使いやすさと継続性を重視したオンデマンド交通サービス」
- ・オンデマンドの乗り合い送迎サービス「チョイソコ」は2018年7月に愛知県豊明市でそのサービスを開始し、2021年1月時点で全国13の自治体様に広がっています。シンプルなプラットフォームを活かし、それぞれの自治体様のご要望に合わせたフレキシブルな運用をご提供。エリアスポンサーとしての地域企業様、交通業者様や異業種様との連携により継続性を重視した運営を展開しております。
 - ・MaaSの観点から路面検知システムなど移動する車両が得られるデータを自治体様に提供するオプションも準備しております。



www.choisoko.jp

B-02

(株)シェアショーファー

新しい日常の「お出掛け」サービス

- ・高齢者の方々へ日常の「お出掛け」サービスを提供しています。・同一地域に居住する複数の利用者により車両と運転手をそれぞれシェアするモデルです。
- ・これにより、自家用車を持たない方々も自家用車を利用することができ、また、相乗りによるドアツードアの移動というバスとタクシーの中間のサービスを提供することができます。
- ・現在、三大ニュータウンのひとつ愛知県春日井市高蔵寺ニュータウンにてサービスを提供しており、利用者の方からは好評を得ています。
- ・サービス内容は、ニュータウン内（半径2km程度）であればどこへでも1日乗り放題で利用が可能です。同時に相乗りによる利用となります。
- ・通院・買い物・名古屋等への外出（JR駅）・銀行・美容院等様々な用途にて利用いただいています。
- ・法的な位置づけは、経産省グレーゾーン解消制度を通じて国交大臣書面にて確認しています。



<http://sharechauffeur.com>

B-03

TOA(株)

「音」で繋がる「笑顔あふれるまちづくり」

TOAの特長

- ・TOAは公共空間に於いてそのシーンに相応しい案内や注意喚起、BGM等の「音」を提供してきました。これまでは施設毎にスタンドアロンの放送設備を提供してきましたが、昨今のICTの進化に合わせMaaSや人流・気象情報等と連携することにより高い精度で、必要な時に、必要な人へ、必要な「音」をお届け出来ると考えています

具体的なソリューション

- ・阪神淡路大震災後いち早く「次世代型防災用スピーカー」を開発し、その遠達性・明瞭性を評価いただき300超の市町村様にご採用を頂きました。現在は神戸市様のBe Smart KOBEではAI搭載カメラで混雑状況を感じし、自動音声案内により混雑状況を緩和させるWithコロナ社会を見据えた取り組みに挑戦しています

TOAが目指すまちづくり

- ・各企業様が保有する技術や情報と弊社の「音づくり」の技術を掛け合せ「笑顔あふれるまちづくり」に貢献して参ります



<https://www.toa.co.jp/>

B-04

(株)ナイトレイ

スマートシティ構想におけるロケーションビッグデータを活用した都市・地域課題解決

会社概要

スマートシティの中での当社の支援のあり方

スマートシティ関連での当社の支援事例

ー福岡市の箱崎エリアを中心とした持続的発展のためのまちづくり課題解決

ーその他、スマートシティ、MaaS関連



<https://nightley.jp/>

B-05

(株)マクニカ

自動運転車両活用による移動支援と走行によって得られるデータ利活用ソリューション

自動運転技術を活用した移動支援（将来の交通課題に向けた課題解決）

- ・弊社では幅広い車両タイプや自動運転の技術を地域課題や環境を考慮して組み合わせる事により最適なお提案ができればと存じます。

車両が走行する事で得られるデータの利活用

- ・で移動課題を解決するだけでなく、走行する事で得られるデータを活用した新たなサービス開発や現在人手を使って実施しているインフラ管理等への活用支援を提供致します。



<https://www.macnica.co.jp/business/maas/>

B-06

(株)アルボル

AI活用型コミュニケーション・ロボを活用した観光ガイドについて

- ・当社では、AI活用型コミュニケーション・ロボ「チャーピー」を販売しております。
- ・「チャーピー」は、IoTプラットフォームによって支えられており、現在は、英会話学習用途で活用されております。
- ・このプラットフォームは、様々な業務に応用可能です。
- ・今回の発表では、観光インフォメーション業務などに展開することをご提案申し上げます。



<https://www.arbol-jp.com/>

B-07

キャノンマーケティングジャパン(株)

地域資源の魅力再構成と先端テクノロジーによるプロモーション

- ・地域や街の魅力を確立し、発信していくことは、観光にとどまらず、エリアの活性化や、そこに暮らす人々の気持ちの豊かさを育む意味でも重要であることは言うまでもありません。
- ・しかしながら身近にあるがゆえに気づいていない魅力があったり、素晴らしい魅力があるにもかかわらず、手法や、内容にそぐわない表現方法でプロモーションしているケースも少なくはありません。
- ・キャノンマーケティングジャパンは、地域に根ざした歴史や文化などを競争力のある地域資源として再構成していくプロセスや、地域資源を効果的にプロモーションしていくための方法、XR、8K、空撮、ボリュメトリック撮影、マルチプロジェクションなど、新しいテクノロジーをどのように活用していけばよいか等を、事例を織り交ぜながら発表させていただきます。



キャノンマーケティングジャパン株式会社

<https://canon.jp/>

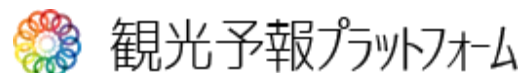
B-08

(株)JT B (観光予報プラットフォーム推進協議会)

ビックデータの有効活用による、EBPM (証拠に基づく) 事業・政策立案) と効率化、生産性の向上

観光予報プラットフォーム (高度データ共有化プラットフォーム)

- ・宿泊者属性・動向分析、6か月先の宿泊予測ができ、居住国、居住地、年齢層、宿泊単価、滞在日数、参加形態、食事条件、宿泊先等の把握分析に加えクロス分析が可能な観光予報プラットフォームと各地域で集積するデータを掛け合わせデータ間の相関を分析。
- ・分析結果を基に、目的としたデータの近未来の需要を予測。
- ・観光産業を基軸とした中小サービス事業者と地方公共団体・観光関連団体に、「最適なデータを提供」「データに裏づけられた確かな商品やサービスを開発・提供」「観光に関連する戦略の策定を支援」。



観光予報DS (Data Science)

- ・IT環境があればどこでもデータ閲覧が行え、小・中・高・大とレベルに応じた活用ができる観光ビックデータアプリ。
- ・宿泊に加え、気象、産業 (RESAS) 等から観光に資する様々な分野のデータを複合的に分析しながら地域の課題を見つけ、根拠に基づく解決案を提案できる。



<https://kankouyohou.com/>

B-09

(株)unerry



スマートシティに向けた行動ビッグデータ活用最前線

unerryが持つ国内最大級のリアル行動ビッグデータ
 ・屋内外の行動をシームレスに把握できる技術、及び全国に展開されているセンサー・アプリネットワークにより日々膨大なデータが蓄積されています。

行動ビッグデータのスマートシティへの活用事例

- ・観光地の回遊実態の把握 回遊促進
 - ・IoTセンサーを活用した施設の来訪人数・混雑実態の把握 平準化
 - ・エリア内の移動実態（移動手段・移動量）の把握 モビリティ最適化
- など、様々な実態把握、施策検討に行動ビッグデータが活用されています。

データの更なる高度活用に向けて

- ・行動ビッグデータを活用した現状把握にとどまらず、企業のOMOマーケティングで培ったノウハウを活かした行動変容の創出（渋滞解消への取組みなど）やAIを活用した人流の予測などにも取り組んでいます。



<https://www.unerry.co.jp/>

B-10

朝日航洋(株)



3D都市モデル、IoT/ビッグデータを活用した防災減災・インフラモニタリング支援

<3D都市モデル()作成及び利活用サービス>

国土交通省が推進するProject “PLATEAU(プラトー)”や静岡県 of VIRTUAL SHIZUOKAへの関与実績をはじめ、本分野の知見を活かした都市空間の3D化による都市空間情報プラットフォームの作成やその利活用についてご紹介します。

- ・活用例：都市計画立案の高度化、防災減災シミュレーション、景観検討、ドローンや空飛ぶクルマの飛行ルートの検討、インフラ老朽化対策等

スマートシティの実現に欠かせないデジタル基盤、実世界（フィジカル空間）の都市を仮想的な世界（サイバー空間）に再現した3次元の地理空間データ

<IoT/ビッグデータによる道路見守りサービス>

地域を走行するコネクティッドカーからセンシングしたビッグデータを活用し、路面調査や道路環境調査等のコスト削減、効率化、省人化を図る技術をご紹介します。

- ・活用例：路面性状の把握、交通安全対策、渋滞対策、道路整備の効果測定、道路の通行状況や凍結、浸水検知等



<https://www.aeroasahi.co.jp/>

B-11

(株)大林組



データプラットフォーム「SCIM」を核としたスマートサービスの提供

発表のポイントと流れ

- ・データプラットフォームによるエリアマネジメントを中心にスマートシティへの取組みをご紹介します。
- ・取組みの経緯や考え方、導入実績事例、個別のスマートサービスの展開をご説明。

データプラットフォーム「SCIM」と連携したソリューションサービス
 ・街区・施設（建物、地盤、インフラ）や利用者に関するあらゆる情報を3D-BIMモデルと連動する形で一元化・見える化するデジタルツインを核としたデータプラットフォームを構築。

- ・データプラットフォームを核に、リアルタイムで情報を収集・分析・発信することにより、計画から運用まで、まちのライフサイクルの各段階で様々な分野のソリューションサービスを実現。



<https://www.obayashi.co.jp/>

C-01

インテル㈱

DX推進に向けて、地域でのデジタル人材育成をお手伝いします

- ・地方自治体様や地域の関連団体様を対象に、デジタル・トランスフォーメーション(DX)を推進していく、データ分析からAI活用が可能なデジタル人材の育成をご支援いたします。
- ・当プログラムは準備編、理論編、実践編の3つの構成となっています。準備編では地域の特性、運営、課題、既存の状況を踏まえ、当プログラムのゴールとすべき社会課題の解決を議論します。
- ・理論編ではセミナー形式でAI入門やデータ分析入門を、座学とハンズオン形式で、それぞれ1-2日で行います。次に実践編として、ハッカソンで社会課題の解決を定義し、それを実現するシステム構築をインテルがファシリテートしながら行います。数週間から数か月の期間を想定しています。
- ・なお、当プログラムの参加者はITに関する基礎知識を有している方を対象とします。また当プログラムは無償でのご提供となりますが、参加者の使用機材等は実費での負担とさせていただきます。



www.intel.co.jp

C-02

PwCコンサルティング合同会社

都市を舞台にしたフィジカル・デジタルの連携による都市機能のスマート化

【目的】

- ・日本のまちを取り巻く環境は、人口構造の変化に加え、災害リスクへの対応、COVID-19などの有事対応、気候変動への対応など、対処すべき課題が複雑化しています。
- ・これらの課題は自治体また企業単独での対処は難しく、共創のもとに都市機能の維持・強化をしていく仕組みが求められています。
- ・共創のためにフィジカル(ex. 協力体制)およびデジタル(ex. データ連携)の両面で連携できる仕組みを構築し、課題に対応していくことが都市機能の向上・スマート化に資すると考えています。
- ・また関係者から理解・協力を得て共創するためにも、共通指針としてのビジョンを描くことも必要です。
- ・本イベントでは共創による課題解決の仕組みの構築および都市機能のスマート化について発表いたします。

【発表予定のアジェンダ】

- ・持続可能なまちづくりに必要な要素
- ・市民・自治体・企業の共創を促す仕組みの構築方法
- ・共創が実現されることによる未来
- ・仕組み構築の論点

<https://www.pwc.com/jp/ja/about-us/member/consulting.html>

C-03

Vivasia S&C㈱

スマートタワー (Dicecell) の活用について

スマートタワー (Dicecell) の機能、特徴のご紹介
スマートシティでの活用

- ・5G/4G基地局の収納、デジタルサイネージ、カメラ、充電設備などスマートシティのサービススポットとしての活用をご提案します

Vivasia



<https://www.vivasia.org>

C-04

㈱福山コンサルタント

当社のスマートシティへの取り組みとソリューション

1. 当社のスマートシティへの取り組み視点
 - ・地域主体、持続可能性を見据えた体制構築、様々な企業の持つソリューションと地域資源の融合による地域課題解決策の提案
2. 当社の取組
 - ・弊社におけるスマートシティの取り組み（発展・自立に向けた取り組み）（新潟市、守谷市における取り組み（自立支援、グリーンインフラ等））
3. スマートシティに関するソリューション（コロナ禍の克服に向けて）
 - ・スマートシティに関する取り組みを支援する弊社のソリューションツールの紹介（ビッグデータ分析、歩行流動把握ツール、スマート・プランニング（歩行回遊シミュレーション）、地域団体との連携（PFI、グリーンインフラなど））

- ・ソリューションを活用した施策検討の紹介（街中の魅力向上・回遊向上を高めるグリーンインフラの取り組み（大丸有エリアのグリーンインフラ活用計画立案の実績など））

**FUKUYAMA
CONSULTANTS
CO.,LTD.**



<https://www.fukuyamaconsul.co.jp/index.cfm>

C-05 京セラコミュニケーションシステム(株)

自治体様・地域事業者様と取り組む「モビリティサービス」と「地域インフラ事業」のご紹介

・弊社が取り組む「自動配送ロボットの実証実験」、「バス自動運転実証」、「AIデマンドバスの実証実験」、「再エネデータセンターを核とした地域エネルギーシステム構築」、「地域ブロードバンドインフラの構築」についてご紹介させていただきます。



京セラ コミュニケーションシステム

<https://www.kccs.co.jp/>

C-06 京セラ(株)

安心・安全な地域社会実現に貢献する京セラコネクティングサービス

・京セラは高耐久やシニア向け等の独自機能を搭載した通信端末を、企画・開発から製造、販売、アフターサービスまで国内での一貫体制で提供しており、そこで培った通信技術を応用することで地域社会の発展に貢献したいと考えております。

・今回はその具体的な製品・サービス事例として、

1. 災害時・非常時にも「つながる」MCAアドバンス無線機
2. 子供や高齢者が地域社会と「つながる」見守りIoTソリューション
3. インフラ維持管理や物流のDXに「つながる」5Gコネクティングサービス

の3つについて発表いたします。



<https://www.kyocera.co.jp/>

C-07 (株)JX通信社

SNS緊急情報サービス「FATALERT」によるスマートAI防災の廉価な実現

・JX通信社はAIビッグデータ防災センサ「FASTALERT」を報道機関をはじめ、地方自治体、消防、警察にご提供しています。

・SNSや、自社運営のニュースアプリユーザー400万人からの投稿データをもとに、特定地域・特定分野の緊急情報を60秒で検知・配信し、昨今注目されるSNS防災を廉価に実現します。

・激甚化・局地化の進む昨今の事前災害やテロ等のリスクに、現地の詳細な映像取得を実現し、適切な初動計画を立案することが可能となります。



<https://jxpress.net/>

C-08 (株)デンソー

地域の非常時と平常時の安心・安全を実現するデンソーの社会ソリューション

1. 防災・行政情報配信システムを活用した安心・安全ソリューション
 ・非常時に防災情報を配信する地域の防災・行政情報配信システム。住民×行政をつなぐこのシステムを住民× で活用し、コロナ禍における遠隔での教育や医療相談、高齢者の見守り、密を避けた移動予約等の日常の安心・安全ソリューションへ応じます。

2. EV/PHVとV2H充電器を活用したレジリエンス強化
 ・平常時にはEV/PHVの充放電を制御し再エネ活用につなげるV2H充電器。非常時にはEV/PHVが電気を運び、停電の避難所へ給電し、エリアのレジリエンス強化につなげます。

3. UAVを活用した橋梁点検サービス
 ・橋梁点検に、デンソーが独自開発したUAV（ドローン）を活用。UAVで撮影した画像から損傷やひび割れを検出、解析し、損傷図までワンストップで提供。橋梁インフラの安心・安全の維持に貢献します。



<https://www.denso.com/jp/ja/>

C-09

三井住友建設(株)

災害（地震）に強いスマートシティの実現

・災害（地震）に強い都市を実現するには、ハード、ソフトの両面から、発災前からの備えと発災後の対応が重要です。「公共施設等総合管理計画」に基づき、旧耐震施設を引き続き有効利用する場合、適法性評価や耐震診断を行い、耐震性能向上の要否を評価します。特に事業継続計画において災害対策本部を設置する予定の市庁舎や避難所に指定されている学校施設等は優先的に必要な措置を実施します。

発災後は建物構造安全性情報提供サービスにより、各施設の余震に対する安全性に関する情報を把握し、円滑な初動に活用します。陸・海電力コネクティングシステムを市庁舎や避難所、病院や福祉施設等での電力確保に利用し、二次災害の防止や追加の災害対策の発生を抑制します。地盤計測システムは土砂災害の予測を支援するデータを提供します。

これらのシステムを自治体の都市OSと連携することにより、災害（地震）に強いスマートシティの実現を目指します。



<https://www.smcon.co.jp>

C-10

エバタ(株)・秩父ケミカル(株)

「水循環」の改善技術で、スマートシティ実現への提案

1. 保有する技術の紹介

プラスチック製雨水貯留構造体

・雨水の流出抑制を目的とした地下埋設型の構造体で、貯留空間の割合が大きく軽量のため、施設のコンパクト化や人力施工が可能となり、経済的なメリットが向上します。

雨水利用技術（地上設置型と地中埋設型）

・溜めた雨水は、散水等への利用により上水の節水に貢献し、トイレの流し水としても活用できます。

2. スマートシティ実現に向けた課題解決イメージ

・浸水リスクを軽減したスマートシティの実現に向けた上部利用の自由度向上

・駐車場の下にも設置可能な地下埋設技術で、有益な土地を創出できます。

・気象予測データを活用した保雨装置の有効活用

・気象予測を感知し溜めた雨水を制御できれば、「治水」と「利水」の両方に対応した装置が構築できます。

・防災拠点における利用可能な水の確保

・プラスチック製雨水貯留構造体を避難場所等に設置することで、非常時の水の確保が期待できます。



(エバタ) <https://www.ebata.co.jp/>
 (秩父ケミカル) <https://www.titibu.co.jp/>

C-11

ミネベアミツミ(株)

スマート道路照明とスマートシティソリューション

無線機能を搭載したLED道路灯

道路灯性能：省エネルギーの実現（消費電力・CO2排出の大幅な削減）

維持管理の効率化

（無線で道路灯をコントロール、照明制御・不点灯監視など一元管理）

道路灯のネットワークに各種センサーを繋げ、防災情報などを提供し、安全性の向上

ミネベアミツミ スマートシティソリューション

- 電力消費削減
 - ・40%削減（LED化による）
 - ・40%削減（省電力LED化による）
 - ・40%削減（省電力LED化による）
- 電力消費削減
 - ・40%削減（LED化による）
 - ・40%削減（省電力LED化による）
 - ・40%削減（省電力LED化による）
- 電力消費削減
 - ・40%削減（LED化による）
 - ・40%削減（省電力LED化による）
 - ・40%削減（省電力LED化による）

<https://www.minebeamitsumi.com/>